

●経理上手くんα ProⅡ【宗教法人】Version:8.801

●経理上手くんαクラウド ProⅡ【宗教法人】・経理上手くんαクラウド SE ProⅡ【宗教法人】Version:8.801

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ Atlas シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**宗教法人 d b (VERSION:8.801) の変更点**”を参照してください。

📌 注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

宗教法人 d b (VERSION:8.801) の変更点

改良

I. 登録・入力

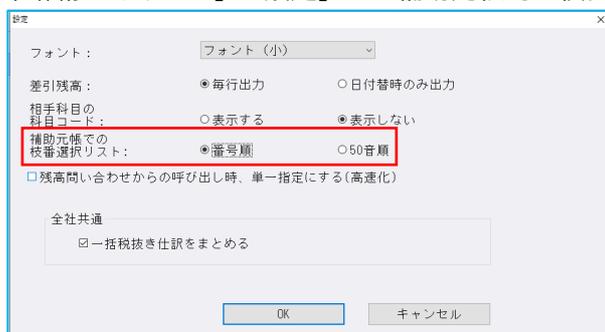
1) 仕訳入力

- ①仕訳入力の [F7 定型伝票] で、定型仕訳登録の改良に伴う対応を行いました。
- ②伝票入力タブで入力中、「F11 伝票登録」を押す前に「F8 仕訳検索」にて伝票種別のいずれかにチェックを付けて検索した場合、未登録の伝票が破棄されることの注意メッセージを表示するようにしました。
“「仕訳登録」が行われていない伝票があります。伝票入力に戻りますか？いいえの場合、その伝票は破棄されます。”



2) 元帳検索

- ①補助元帳のとき、枝番を 50 音順に表示できるよう対応しました。
仕訳修正タブの [F6 設定] に「補助元帳での枝番選択リスト：場号順/50 音順」を追加しました。



3) 残高問い合わせ

- ① [比較残高・比較貸借・比較損益タブ] 「残高・発生の無い枝番を出力する」 OFF 設定時に、部門枝番が前期、当期の金額がともに 0 円の場合は非表示にするように対応しました。

4) 科目設定・残高登録

- ① (収支) 枝番残高登録タブ内に「枝番複写」ボタンを新規追加しました。
1科目に登録済みの枝番を他の1科目に複写できるように対応しています。

複写元になる科目を選択して「枝番複写」ボタンを押下します。



複写先の部門・科目を選択します。(複写元も変更可能)

複写元から複写する枝番を選択する(Shift+範囲、Ctrlで個別指定可能)

「⇒」ボタン押下で複写先へ移動し、「複写開始」を押下します。



- ・「枝番消費税区分を複写する」が ON の場合は消費税区分も複写します。
- ・複写先に重複する枝番コードの枝番が登録されている場合はマークがつき、「複写先枝番を確認する」ボタンを押下することで複写先の枝番登録状況が確認できます。

複写先の枝番は、以下のように登録済みです。

枝番	摘要	枝番名称	カナ	課税区分	仕入区分	税率
0001	いちばん		イ	課税		8.0%
0002	にばん		ニ	課税		10%
0003	さんばん		サン	課税		10%

閉じる

※「複写先枝番を確認する」画面

- ・複写先に重複する枝番がある場合確認メッセージを表示します。

上書き確認

 複写元と同じ枝番[0001]が既に存在します。
上書きで複写してもよろしいですか？

枝番	摘要	枝番名称	カナ	課税区分	仕入区分	税率
複写前						
0001	いちばん		イ	課税		8.0%
↓						
複写後						
0001	1 1 月分		イカ	課税		10%

はい(Y) スキップ(S) キャンセル

同じ処理を残り2個の枝番に適用(D)

「はい(Y)」：上書きで複写

「スキップ(S)」：当枝番を複写しないで次へ

「キャンセル」：複写処理を中止

複写完了

スキップしたものがあればスキップ*件

科目設定

 枝番の複写が終了しました。
新規登録 2件 上書き登録 3件

OK

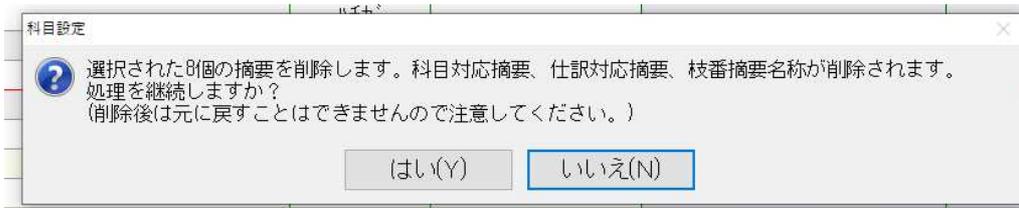
②摘要辞書登録で範囲を指定して一括削除できるように対応しました。

Shift+範囲、Ctrl で個別指定によって複数行を選択後、削除ボタン押下で複数行一括削除できるように対応しました。

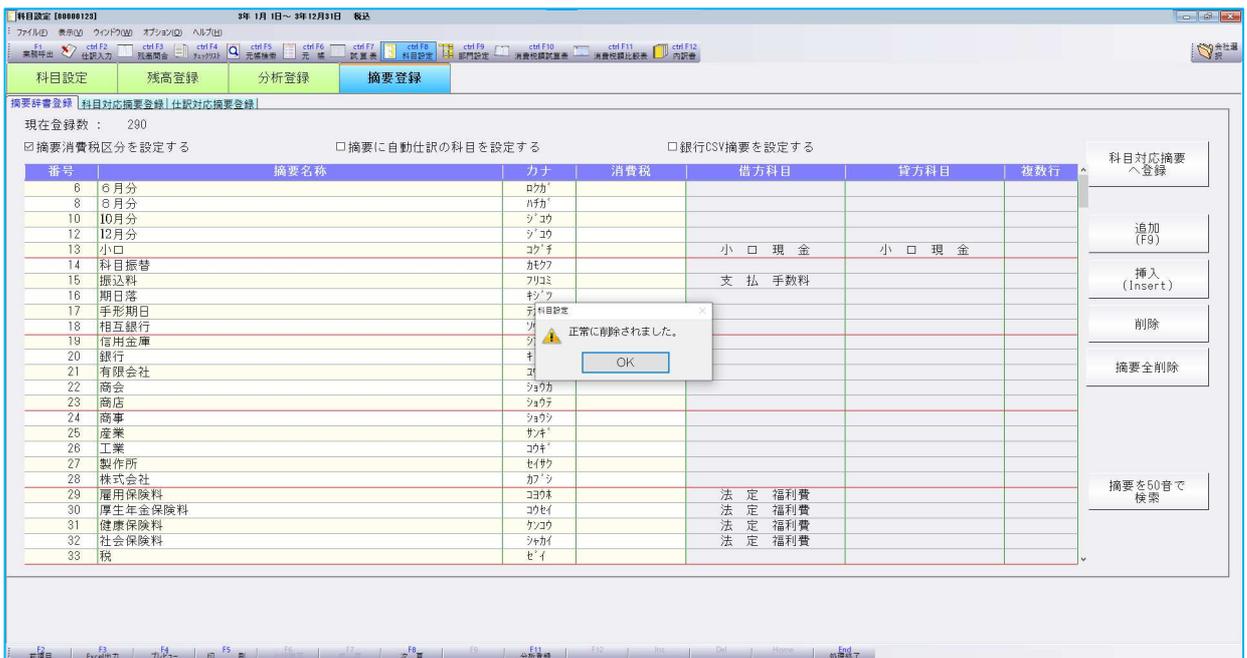
Shift+範囲、または Ctrl で個別指定。その後「削除」ボタンを押下します。



下記のメッセージボックスを表示します。(初期値は「いいえ(N)」)。
「はい(Y)」押下で削除開始します。



「OK」押下で削除完了。



③摘要辞書／摘要仕訳編集

・ 枝番欄で、0003 と 4 桁で入力する必要があったのを 1 桁で入力できるようにしました。

④原則課税：個別対応の場合は、消費税額比較表の「他の課税方式と比較する」の設定にかかわらず、棚卸科目の仕入区分列を変更できないようにしました。

科目名称変更		科目設定・変更		科目順変更		出力用特殊名称		科目消費税区分を設定する		入力区分一括変更		科目検索		入力表示科目の設定	
番号	属性	期首	商品	棚卸	高	科目名称	カナ	コード	摘要	課税区分	仕入区分	税率	入力区分		
193		期首	商品	棚卸	高	ギフトの		0611		---	---	---	---		
194		期首	商品	棚卸	高	ギフト化		0612		---	---	---	---		
195	仕入	仕入	高	高	高	フィルタ	カ	0550	24	課税	基本	10.0	標準(内)		
196	仕入	仕入	高	高	高	フィルタ	カ	0551	24	課税	基本	10.0	標準(内)		
197	仕入	仕入	高	高	高	フィルタ	カ	0552	24	課税	基本	10.0	標準(内)		
198	仕入	仕入	高	高	高	フィルタ	カ	0553	24	課税	基本	10.0	標準(内)		
199	仕入	仕入	高	高	高	フィルタ	カ	0554	24	課税	基本	10.0	標準(内)		
200	仕入	仕入	高	高	高	フィルタ	カ	0555	24	課税	基本	10.0	標準(内)		
201	仕入	仕入	高	高	高	フィルタ	カ	0556	24	課税	基本	10.0	標準(内)		
202	仕入	仕入	高	高	高	フィルタ	カ	0557	24	課税	基本	10.0	標準(内)		
203	仕入	仕入	高	高	高	フィルタ	カ	0558	24	課税	基本	10.0	標準(内)		
204	仕入	仕入	高	高	高	フィルタ	カ	0559	24	課税	基本	10.0	標準(内)		
205	仕返	仕返	高	高	高	フィルタ	カ	0615	24	課税	基本	10.0	標準(内)		
206	仕返	仕返	高	高	高	フィルタ	カ	0616	24	課税	基本	10.0	標準(内)		
207	期末	期末	高	高	高	ギフトの		0617		---	---	---	---		
208	期末	期末	高	高	高	ギフト化		0618		---	---	---	---		
209	経費	役員	報	報	報	ギフトの		0711	6	不課税	---	---	---		

5) 定型仕訳登録

①定型仕訳登録画面で定型伝票の編集処理・登録済みの定型伝票の一覧の並び替えに対応しました。

○定型伝票編集画面の機能について

定型伝票のタイプを選択（振替伝票・入金伝票・出金伝票）

定型伝票名称を入力して、作成したい定型伝票名を入力し、その定型伝票の内容を登録します。

○登録した定型伝票の順番を入れ替える機能を追加しました。

→ 定型伝票名称リストで、該当の定型伝票を 上移動[F7]・下移動[F8]することで可能です。

【Home 一括変更】

税率の一括変更を行う業務です。

II. 出力

1) 試算表

- ①枝番表示のリストで、スペースキーでの ON/OFF に対応。

III. 表形式

1) 表形式仕訳データ取込

2) 表形式出納帳データ取込

3) 表形式振替伝票データ取込

- ①ユーザー登録業務「権限詳細」において財務 d b 用の設定を行う際、「仕訳入力可（他者入力閲覧・訂正可／不可）」が ON の時、財務・非営利の表形式内のデータ取込 3 業務を起動できるように変更しました。



- ②「枝番カナ」「仕訳区分」の取り込みに対応しました。

「枝番カナ」の取込

- ・半角カナ 6 文字まで 7 文字以上はカットします。 濁点・半濁点も 1 文字 アイヨウジ→アイヨウ
- ・「登録済みの枝番摘要を上書きする」にチェックが入っている状態でデータ取込を行った場合、枝番カナが登録済みであるかどうかにかかわらずカナを上書きします。
- ・「登録済みの枝番摘要を上書きする」にチェックが入っていない状態でデータ取込を行った場合、既存の枝番カナは上書きせず、新規の枝番カナのみ登録します。

「仕訳区分」の取込

- ・仕訳に対して設定することのできない仕訳区分が入力されている場合は仕訳区分なしとして取り込みます。
- また、仕訳区分表に未登録のコードが入力されている場合も仕訳区分なしとして取り込みます。

- ③ d b 振替伝票形式で、摘要項目に半角スペースがある場合、半角スペースを保持して取込むように対応しました。
- ④文字列内に「,」があった場合、「”」前で文字列が切れるため、文字列が切れないように対応しました。
- ⑤枝番摘要・摘要の文字列に「”」があった場合、「””」として取り込まれるため、「”」で取り込まれるよう対応しました。
- ⑥日付に半角スペースがある場合取込エラーとなるので、半角スペースをカットするように対応しました。

4) 表形式入力フォーマット作成

- ① d b 形式の表形式入力フォーマットに「枝番カナ」の項目を追加し、表形式仕訳データ取込・表形式出納帳データ取込・表形式振替伝票データ取込の3業務で取り込めるように対応しました。半角が6文字で入力してください。(濁点・半濁点も1文字 ジ (2文字))
- ② d b 形式の表形式入力フォーマットに「仕訳区分」の項目を追加し、表形式仕訳データ取込・表形式出納帳データ取込・表形式振替伝票データ取込の3業務で取り込めるように対応しました。

例) d b 仕訳形式

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
1	法人																							
2	db 仕訳日記帳																							
3	70101 日本ICS株式会社																							
4	自 2年 4月 至 3年 3月 月分																							
5	日付	決修	伝票番号	借方部門	借方工事	借方コード	借方名称	借方枝番	借方枝番カナ	借方枝番カナ	貸方部門	貸方工事	貸方コード	貸方名称	貸方枝番	貸方枝番カナ	貸方枝番カナ	金額	摘要	税区分	対価	仕入区分	売上業種	仕訳区分
6	2.28					101				1.al株式会社74			511					30000	輸出売上					14
7	2.28					101							511					20000	非課税輸出売上					5

仕訳区分コード表

コード	仕訳区分
0 または未入力	なし
1	売上
2	貸倒損失
3	貸倒回収
4	輸入仕入
5	非課税輸出売上
6	販売奨励金費用
7	販売奨励金収入
8	売上割引
9	仕入割引
10	棚卸調整加算額
11	棚卸調整減算額
12	特定収入(非営利法人)
13	特定収入外(非営利法人)
14	輸出売上
22	受取利息
23	仕入
25	経費
30	消費税精算
32	特定課税仕入 (本体)
33	特定課税仕入返還 (本体)
34	特定課税仕入 (消費税)
35	特定課税仕入返還 (消費税)
36	輸入消費税 (国税)
37	輸入消費税 (地方税)
38	輸入消費税 (国地合算)
39	完成時振替

修正

I. 導入・更新

1) 翌期更新

- ①部門コードが0の部門を共通部門として使用しているマスターを翌期更新すると、「翌期への更新処理中に、エラーが発生しました。配賦基準合計科目の更新に失敗しました。」となる場合があったのを修正しました。（「部門設定」を修正しています。）

2) 前年度からの更新

- ①宗教法人マスターにおいて、収支科目予算残高更新中に不正終了する場合があったのを修正しました。

II. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①振替伝票で修正時の複合仕訳の表示を「詰めて表示」の場合に、行挿入すると、複合仕訳の摘要が消えたり、行挿入した別の仕訳に表示されたりと摘要が正しく表示されなかったのを修正しました。
- ②特定の期間のマスターにおいて、伝票入力で月指定バーを全月指定しているにもかかわらず、日付の月が変更できなかったのを修正しました。
例：会社登録の基本会社情報は決算期間：3年7月21日～4年6月30日、
締日：20日、入力開始：3年7月21日のマスターで、8月から7月に月が変更できなかった。
- ③「枝番選択を50音で表示」のチェックがONの場合に、同じカナの枝番が複数発生すると、科目設定の枝番残高登録画面と科目選択の並びが違ったのを修正しました。
科目設定の枝番残高登録と同様に、同じカナは枝番順で表示します。
- ④一括修正で消費税仕訳区分を修正前「消費税精算」にし、右側修正後を「仕訳区分 取消」にして修正開始を押すと8%の仕訳が10%に変わっていたのを、元の税率を保持するように修正しました。
- ⑤枝番入力設定が2桁になっているマスターで、出納帳入力の基本科目の枝番の入力時、「.（ドット）01」あるいは「.（ドット）1」と入れても入力できなかったのを修正しました。
- ⑥原票マスターで、仕訳入力時に原票を表示しながら上下矢印で送ると途中で不正終了することがあったのを修正しました（電帳法対応オプション契約のみ）。

2) 元帳検索

- ①Deleteキーで仕訳削除すると、仕訳修正ダイアログが出てしまう場合があったのを出ないように修正しました。
仕訳入力のF4入力設定で「伝票形式入力タイプの表示：表示するをオフ」でかつ[F11 貸借修正]を行っている場合、仕訳修正ダイアログが出ていない状態でDelete押すと仕訳修正ダイアログが表示されていました。
- ②前月より繰越にフォーカスがあるときは[検索一覧 (Shift+Enter)] ボタンが選択不可のグレースアウトの状態になりますが、一部OSで、マウスオーバー時などにアクティブに一瞬変わっていたのを修正しました。

3) 残高問い合わせ

- ①F11発生残高、月別発生残高ダイアログから、日別発生残高ダイアログに切替えて、Excel出力後、プレビュー表示を行うと月別・日別の発生残高ダイアログがプレビューの上に表示されていたのを修正しました。
- ②営業外損益、特別損益科目で仕訳入力し、残高問い合わせの比較損益画面、又は比較貸借画面を表示後に残高画面に戻すと最後に表示の科目以降の一部又は全部が2重で表示される現象を修正しました。
1科目だけ発生・残高がある大分類または中分類科目が存在する場合、当該分類科目を含む以降の分類科目が所定の操作により重複していました。
- ③残高問い合わせでF6条件設定-部門表示方法を科目にして残高タブを見ると、残高発生のあるはずの科目部門の行が表示されなかったのを修正しました。

4) 科目別日別残高表

- ①R3.7.21~R4.7.20 決算の20日締めマスターで科目日別残高表、月指定が12月(12月20日)までは問題なく表示されるが、1月(1月20日)を指定すると、各科目の繰越は表示されるが、日ごとの発生が全く表示されないものを修正しました。
月指定で1月を選択、その期間がn年12月~n+1年1月のときに発生が表示されなくなっていました。

5) 科目設定・残高登録

- ①新規会社登録・修正・削除の消費税情報タブの、消費税区分集計の枝番を“行わない”でも枝番登録時に消費税区分が反映されるよう修正しました。
下記の事象に関する対応です。
通信移動のマスター&データ抽出で、枝番残高や枝番名称に差異がないのに【その他送信ファイル】枝番残高の差異にチェックが付くことがありました。
新規会社登録・修正・削除の消費税区分集計の枝番を“行わない”で枝番を作成した際に、科目の消費税区分が枝番に反映されていない状態で作成されており、マスター修復などの処理を行うと区分が反映されるため、その処理を行っているもの行っていないものとで内部的に差異ができていました。

6) 定型仕訳登録

- ①部門コード欄にカーソルを止めると、部門コードを振っていない貸借科目側にも前後の部門が表示され、部門表示も黒字や青字の表示が混ざる場合があったものを部門表示が正しく表示されるように修正しました。

7) 資金科目・予算・予備費関係登録

- ① [F11 詳細入力] 中の科目予算流用額明細ダイアログにおいて、右上に表示する変更後予算額が、予備費流用額を加味した金額となっていないのを修正しました。
- ②部門のON/OFFを切り替えたときや、コンボボックスで部門を変更した際に、選択していた科目が変わっていたため、変わらないように修正しました。
- ③予備費流用の流用実施日が部門ごとに保存されるように修正しました。

Ⅲ. 出力

1) 総勘定元帳

- ①損益勘定元帳の直前の科目の最後の仕訳が金額0円の仕訳の状態では損益勘定元帳を出力すると、それらの元帳の摘要欄に金額0円仕訳の摘要が複写され、借方科目や貸方科目、金額が出力されない状態になっていたのを修正しました。
- ②予算元帳選択時、科目指定欄にカーソルを置くと、収支科目の選択(中身が空)が表示されていたのを通常の科目選択を表示するように修正しました。

2) 試算表

- ①貸借サインが違う科目の集合で、枝番表示の金額が正しく集計されていなかったのを修正しました。
- ②収支試算書において、1か月目の帳票からすべての予備費流用を加味した金額で出力していたため、予備費の流用実施日の月で反映するように修正しました。
※予算実績対比表業務でも同様の対応を行っています。

3) 消費税元帳

- ①伝票番号の出力桁数の設定が反映していなかったのを修正しました。

IV. 決算

1) 決算書

- ①収支計算書において、1 か月目の帳票からすべての予備費流用を加味した金額で出力していたため、予備費の流用実施日の月で反映するように修正しました。
※総括表業務でも同様の対応を行っています。

以上